



夏の暑い日が続く七月。幼児対象の活動で近くの公園に行き、シャボン玉やソリを使って楽しみました。コロナ禍でなかなか外出が出来ない中での遊びは、とても楽しそうでした。

小学生ドッジボール



今回は、大会（江戸っ子杯）はありませんでしたが、近隣施設と試合ができました。



六〇七月、毎年恒例の小学生ドッジボールクラブの活動がありました。



みんな一生懸命投げてよけて、かっこよかったです！
来年は試合できる
といですね！



→ 一文字の大きさは手のひらと同じです

竣工 大正六年
高さ 約十メートル 幅 約六メートル

【渋沢栄一と船形学園と磨崖碑】
養育院は、明治五年（西暦一八七二年）に設立されました。
渋沢栄一はどんなに忙しい時にも月一、二回は養育院を訪れ入所者を気づかい、励まし、明治十二年には初代院長となりました。当時、福祉に税金を使うことに対して批判も多く、養育院の廃止を訴える声もあり何度か危機に立たされましたが、渋沢栄一は声高らかに反対論を唱えたとのこと。その後の養育院は老人や子ども、病院など対象によって分割されながら発展し、明治四十二年に安房分院として開設されたのが現在の東京都船形学園です。
学園敷地内にある巨大な磨崖碑では、「子どもたちの多くは死を免れることが出来た」と渋沢栄一の功績をたたえています。



船形学園スタッフブログでは、「日々の出来事や」情報発信を行っています。
こちらのQRコードからぜひご覧ください。「船形学園スタッフブログ」で検索もできます。

ブログ紹介



あなたの趣味や特技を活かしてみませんか？
船形学園ではボランティアさんを募集しています。現在は新型コロナウイルスの感染拡大により休止していますが、感染状況が改善され次第、ボランティアさんによる活動を再開する予定です。ボランティア活動に興味、関心がある方はぜひ当園のボランティア担当までご連絡ください。

編集後記

秋の気配が色濃くなってきました。
皆様には日頃よりご支援、ご協力を賜わり心より感謝申し上げます。
新型コロナウイルスにより、今までどおりの生活が難しいなか、園として子ども達のために何かできないかと試行錯誤して、感染対策を行ないながら今年度もいくつかの行事を開催することができました。
子ども達が、気兼ねなく笑顔で過ごせる日々がまた来ることを祈っています。
この号に関するお問い合わせは、船形学園広報担当までお願いいたします。

第五十九号 編集長

学園だより 「さざなみ」第59号
発行年月日 令和3年10月15日発行
編集・発行 東京都船形学園
千葉県館山市船形1377
電話 0470-27-2921
ホームページ
jigyodan.org/funakata-gakuen/

夏休みの様子



バーベキューをしました!肉や野菜いっぱい♪



夜、皆で花火!初体験の子も。気持ちを一つに点火!



スイカ割り!



バシャ!



園にある子どもプールで遊びました!

生活の様子

部活動を頑張った証はなかなか落ちませんが、頑張って洗濯しています!



Before



After

船形学園は子どもたちの生活の場です。
子どもたちが日々を心地よく過ごせるようにするためには、当たり前だけど大切な営みがたくさんあります。その一部をご紹介します。



こども園の送り迎えや買い物は、電動自転車でスイスイの毎日です。



園内の草刈りも、生活環境を整えるために大事なことです。

学園の小学生の集まりである小学生会では「学園生活への意見・要望」を考える時間があります。

昨年度の小学生会では、「どのような物や事があると学園全体の子どもの生活がもっと充実するかな?」というのを理由も含めて話し合い、当時の六年生が代表して園長へ要望を伝えに行きました。子どもたちの率直な意見に、園長をはじめ同席している職員全てが納得しました。

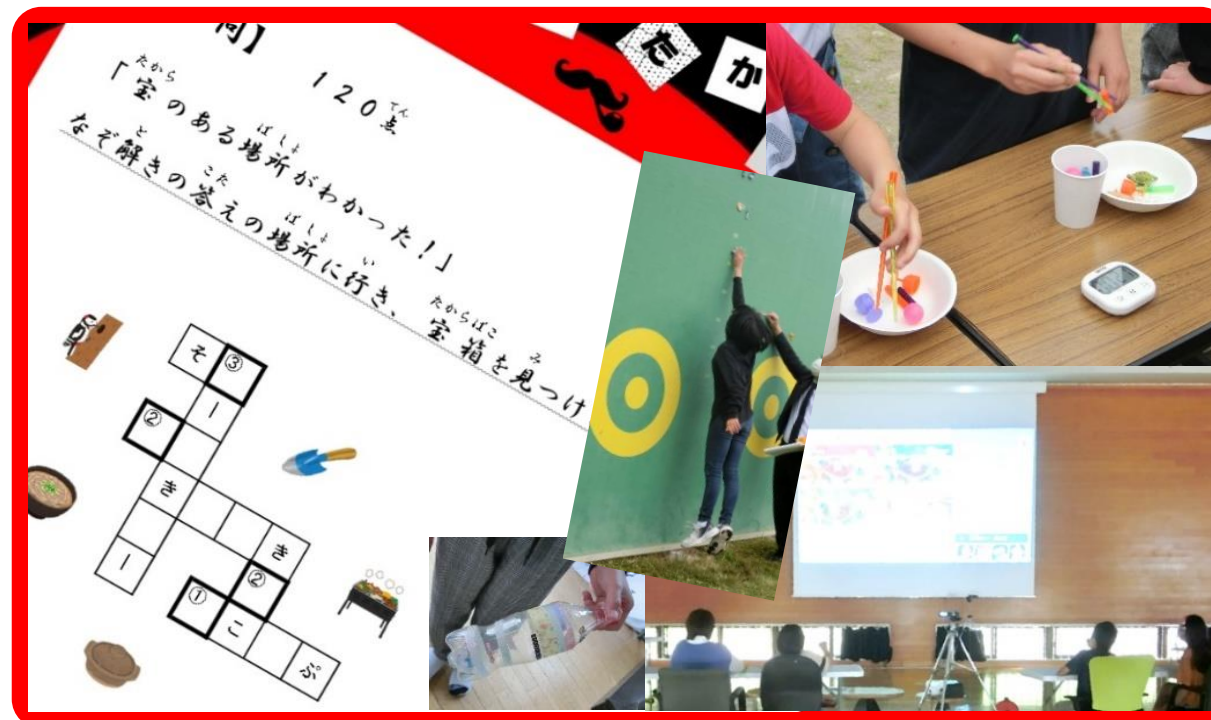
その中の一つにゲーム機がほしいとの要望があり、品物の Nintendo Switch を職員は連日探し回り、何とか各室に一台ずつ確保することができました。

一家に一台はパソコンやゲーム機がある時代です。船形学園では、子どもが使用できるパソコン、タブレット端末も導入しました。コロナ禍で外出等の制限があるなか、子ども達は学習や調べものに使ったり余暇時間には皆でゲームを楽しんだりするようになりました。それぞれの使い方は、子どもと大人で話し合って決めています。

子どもたちが全体の利益を考えて大人に伝えそれが形になって返答される機会は、今後でも大切にしていきたいですし、「家庭的な雰囲気になしでも近づける」よう、学園全体で常に考え行動していきたいと考えています。



パソコン、タブレット端末、ゲーム機の導入



五月五日には、Nintendo Switch を活用して、学園内でイベントを行ないました。

第一部は、ゲームの部。普段の寮のテレビとは違って、体育館の大きいスクリーンに映してミニゲーム対決です。

第二部は、屋外レクの部。タカトベ(垂直跳び)などの個人競技と、バズルラトケ(クロスワード)などのなぞ解き&宝探しです。

ゲームでは目と指、個人競技で身体、なぞ解きで頭と、全部使って楽しむことがコンセプトです。寮ごとにチームを組んで、総合得点を競いました。

感染症対策のため、声援の代わりにペットボトルで作成した応援グッズを使うなど、みんな楽しんでいました。